

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院・臨床研修指定病院(管理型)



労働者健康福祉機構 新潟労災病院

〒942-8502 上越市東雲町1-7-12 電話：025(543)3123

合同研修会 「膵癌に対する集学的治療の現況 外科手術・ワクチン療法の Art と Science 」について

副院長 小池 宏

1月16日の夕方に、膵癌治療に関する演題で第31回新潟労災病院合同研修会が行われました。今回の研修会に講師として御招きしましたのは、和歌山県立医科大学外科学第二講座の山上裕機教授でした。きっかけとなりましたのは、昨年11月中旬の「NHK ニュースウォッチ9」の中で膵癌や膀胱癌などに対する新しい治療法としてワクチン療法について紹介され、その時に先生の姿を目にしたことでした。

私事になりますが、先生は私の大学時代の同級生でした。不真面目で、あまり大学の講義にも出なかった私と違い、先生は学生時代から真面目で優秀でした。そのため、昔風に言って「机を並べて学んだ」仲の良かった友人とは言えなかったのですが、メールをお送りしたところ、今回の御講演を快く引き受けて下さり実現したものでした。外科に



進まれた先生とは、学会等で顔を合わせるということもなく、最後に御会いしたのはもう10年も前のことでした。先生は、単に真面目で堅いだけの面白味のない人物ではありませんでした。むしろ、話題も豊富で人間味があり非常に魅力的で、いつもたくさんの人たちに囲まれている人でした。卒業後に母校の大学病院の外科学第二講座に入局されましたが、1992年9月からの2年余りをアメリカ国立医学研究所(NIH)の国立がん研究所(NCI)で癌免疫遺伝子治療の基礎研究に従事された後、2001年6月に教授に就任されました。

今回のテーマは膵癌の治療に関してのものであり、泌尿器科医の私にとっては専門的で分かりにくい部分もあったのですが、精力的に基礎研究や臨床研究に取り組んでおられることはよく理解できました。臨床の現場で、それまで常識と考えられていたことについて生じた様々な疑問点を、科学的な手法を用いて着実に検証を進められています。外科的治療のみならず、ワクチン療法という新しい分野の治療法にも積極的に



取り組んでおられることも御報告下さいました。外科と泌尿器科で取り扱う領域が異なり、環境も大学病院と一般病院と違いますが、私ももう少し頑張らねばと改めて思いました。

今回の合同研修会には開業されている先生方をはじめ、新潟大学の外科の先生方にも御参加いただきましたこと、御礼申し上げます。また、今後もたくさんの方々に御集まり頂けるような合同研修会を企画していきたいと考えていますので、宜しく御願い申し上げます。最後に、御講演の後で先生を囲み楽しい一時がありましたことも、書き添えさせていただきます。



よろしくお願ひします！（新任医師自己紹介）

内科医師 古 塩 純



1月1日より内科に赴任しました古塩（こしお）純と申します。新潟県長岡市出身、平成17年に新潟大学医学部を卒業し、今年で4年目になります。腎・呼吸器疾患はもちろん、多くの疾患の診療にあたり、皆様と共に地域や病院に貢献できればと思っております。上越は不慣れな土地ですが、まずは大河ドラマ「天地人」をかかさず観ながら、少しずつ慣れていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

内科医師 市 川 紘 将



平成18年に新潟大学医学部を卒業し、今年で3年目になります。平成20年に新潟大学医学部第二内科に入局しましたが、内科というだけで、専門分野はまだ決めておりません。平成21年1月から新潟労災病院でお世話になっていますが、ここでは主に呼吸器を診させていただく予定です。6ヶ月間という短い期間なのですが、少しでも地域の医療に貢献できればと思っております。

人生初めての上越市です。いろいろ教えていただくと嬉しいです。



早期胃がんの内視鏡治療について

内科副部長 前川 智



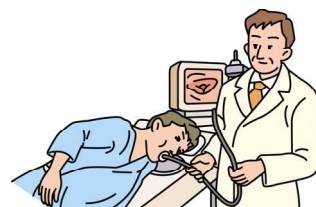
胃の粘膜にできた悪性腫瘍を胃がんといいます。日本では胃がんの患者数、死亡数はともに減少傾向にあるものの、死亡者数は肺がんについて第2位と依然上位を占めています。ここでは、胃がんの治療、とくに早期胃がんの内視鏡治療について述べたいと思います。

胃がんは、胃壁の内側から外側へ浸潤し、進行度によって2つに分けられます。胃壁は内側から粘膜、粘膜下層、筋層、漿膜下層、漿膜と呼ばれる5層から形成されており、がんの浸潤が粘膜下層にとどまっているものを「早期胃がん」、がんが筋層から漿膜まで浸潤したものを「進行胃がん」と呼んでいます。

進行胃がんでは外科治療、他臓器に転移した胃がんでは抗がん剤治療が必要となりますが、早期胃がんの大半は、内視鏡(胃カメラ)を用いて切除することができます。内視鏡治療では、皮膚切開および胃切除の必要がないので、患者さんの負担も少なく、胃の機能をそのまま残すことができます(内視鏡治療の翌日から食事が可能です)。

早期胃がんの内視鏡治療は、病変を含んだ周囲粘膜を鋼線のスネアでしばり焼灼切除する方法である内視鏡的粘膜切除(EMR)が従来から行われていましたが、ここ数年内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)と呼ばれる新しい治療が急速に普及してきており、当科でも積極的に施行しています。EMRでは、2cm以下の小さな病変しか切除できませんでしたが、ESDは内視鏡的に電気メス(IT ナイフなど)を用いて病変を切除する治療なので、どんな大きさの病変でも、早期胃がんであれば一括で切除することができます。ESDはEMRに比べ治療時間がやや長くなりますが、静脈麻酔を行いますので、痛みを感じることなく、治療は終了します。入院期間は、切除後の傷(胃潰瘍)の治療を含め、7~10日間程度です。

ESDの登場により大きな病変でも確実に内視鏡で治すことができる時代となった訳ですが、対象となる病変はあくまで早期の胃がんであることには変わりありません。予防医学の観点から、特に症状がなくても、定期的に内視鏡検査を受けることをお勧めします。当科では、経鼻内視鏡を用いた苦痛の少ないスクリーニングの内視鏡も行っていますので、是非受けてみてください。胃がんは早期発見・早期治療が鍵です！



市民公開講座の日程変更について

ろうさいニュース第77号にてご案内いたしました市民公開講座3月の日程が、都合により次のとおり変更になりましたのでご案内いたします。

なお、演題名・講師の変更はないことを申し添えます。

変更前

平成21年3月14日(土)
10:00~11:30

変更後

平成21年3月28日(土)
10:00~11:30

「投書箱から」

当院では投書箱を設置して、「皆様の声」として皆様からご意見、苦情をお聞かせくださるようお願いしております。いただいた投書に対する回答は、1階会計窓口後方の掲示板に掲示しております。

今回、12月分の投書の中から一通をご紹介します。

皆様の声	病院からの回答
6F東に入院の付添のイスが背もたれがなく丸イスなので、腰が痛くなり疲れます。イスを背もたれ付きに交換して頂けないでしょうか。	投書をありがとうございました。病棟師長から回答いたします。病棟のベッドサイドに用意しております椅子ですが、背もたれがついているタイプの椅子も用意しております。ご希望の方は病棟担当者までお申し出ください。

図書ボランティア募集！

当院では患者図書室での対応や資料の整理などを手伝ってくださるボランティアの方を募集しています。

図書の仕事が未経験の方も大歓迎です。ご応募お待ちしております。



連絡先 新潟労災病院 総務課
電話 025-543-3123
FAX 025-544-5210
E-mail info@niirou.jp
担当 川村

連携医療機関のご紹介

ゆきだるまクリニック

院長 古賀 昭夫

新潟労災病院職員の皆様方には日頃より大変お世話になっております。特に先生方や看護師さんには急患や入院対応でいつも御迷惑をおかけしているかと存じます。

私は工学部を卒業後、地域での医療を志して金沢大学医学部へ入りなおし、長野県佐久病院を経て、平成13年に当時常勤医不在であった安塚町の当院へ赴任いたしました。病院では一通りの勉強をしてきたつもりでいましたが、いざ1人で診療所へ出ると、専門検査ができない、相談者がいない、そして診察が満足にできない自分の未熟さを痛感させられました。そこで医学書や論文を懸命に読み、できるだけ研修会に参加し、患者さんから多くのことを教えてもらいながら、まがりなりにも今日まで続けて参りました。とくに勉強になったのは、病院の先生方への紹介です。非常に丁寧にしるされた返書の一語一句にうなったり、赤面したりで本当に自分の血肉となるようにさえ思われます。また、緊急時には夜間といえども対応いただける労災病院の存在があってこそ、地域の診療所として存続できたと感謝しております。

当院は看取りを含めた自宅での診察や、各種福祉サービスとの連携にも努め、ご家族の負担軽減にも気をくばっています。併設のデイサービスセンターもありますので、入院中や通院中でおちついていない患者さん、病院までの通院が困難な患者さんがおられましたら、ぜひ主治医の先生に御相談ください。(なお、CT、超音波検査、鼻からの胃カメラ、血液検査などは可能です。)

私の仕事は、住民の皆さんがこの土地で安心して暮らせる一助になることだと考えています。そのためには、今以上に労災病院はじめ近隣機関との協力体制を強め、お互いに補完しあうことが不可欠です。至らない点が多々あるかと存じますが、引き続き宜しくお願い申し上げます。

ゆきだるまクリニックホームページURL
<http://web.joetsu.jp/~yuki.cl/index.htm>



私たちの職場 7階東病棟

7階の病室から見える頸城連山（妙高山・火打山・焼山）と、雄大なる日本海、四季折々の景色はすばらしく、病院一心和む展望です。

当病棟は呼吸器と腎疾患をメインとした内科と、循環器内科、そして、医師が2名になり入院患者数も増えている皮膚科の47床で構成されています。明るく、個性豊かな看護師23名と補助者1名は、「安全で安楽な看護を提供する」をモットーに日々奮闘しています。

呼吸器疾患では、重症肺炎や慢性呼吸不全、肺がんの患者様も多く入院され、人工呼吸器管理や在宅酸素療法、また、化学療法・放射線療法など、治療も多岐に亘っています。腎臓疾患では、慢性腎不全で、血液透析や腹膜透析に移行される方もいます。患者様・ご家族へ指導を行い、医師・看護師・薬剤師・栄養士や他と連携した、チーム医療を行い、患者様のQOL(生活スタイルの質)の向上に努めています。患者様の療養生活が快適に過ぎせ、退院後の生活を予測し、スムーズに退院できるよう、受け持ち看護師を中心にチーム全員で関わっています。



散歩道



こころ

先日、長岡駅に初めて降りた。そこでふと気がついたのが駅ビルの名前。「C o C o L o」とある。新潟駅の駅ビルも同じ名前だったことを思い出し、家に帰ってから早速、ネットで検索してみた。すると、この名前のコンセプトがこう書かれていた。「心「ココロ」をひとつにして、お客様への「ココロ」心をこめたサービスを大切にしたい。お客様との心「ココロ」のふれあいを大切に、郷土新潟【Local】の愛情【Love】いっぱいのおいしい商品や良いサービスをご提供してお客様にご満足いただきたい・・・」。使い古された言葉のようであるが、日頃つい忘れてしまいそうになることである。人間は弱いものだと思う。自分を正当化するため、自分をよく見せたいため、自分を守るため、自分の欲求を満たすためについ自分さえよければと自己中心的な考えを持ってしまいがちである。日頃の自分を振り返り、少しでも人を思いやる「ココロ」を持ち続けたいと反省した。

(H.K)

2月 人間ドック(日帰り)等の予約状況

平成21年1月22日現在

項目	日にち																			
	1日	2月	3火	4水	5木	6金	7土	8日	9月	10火	11水	12木	13金	14土	15日	16月	17火	18水	19木	20金
特定健診		-							-							-				
人間ドック(日帰り)		-	x		x				-							-	x			
女性専用外来		-	-	-	-	-			-	-		-	-			-		-	-	-
睡眠時無呼吸外来			-	-	-	-				-		-	-				-	-	-	-
禁煙外来		-		-	-	-				-		-	-			-		-	-	-

項目	日にち							
	21土	22日	23月	24火	25水	26木	27金	28土
特定健診			-					
人間ドック(日帰り)			-					
女性専用外来			-	-	-	-	-	
睡眠時無呼吸外来				-	-	-	-	
禁煙外来			-		-	-	-	

予約可能 x 空き無し

* お申込み・お問い合わせ 空き状況等をご確認の上お申し込みください。
 医事課医事係 小松 025-543-3123 内線 1233

* ドック・オプションのご案内

項目	内容	金額(税込み)
基本検査	診察	30,000円
	身体計測	
	血液学的検査	
	血液生化学検査	
	肝炎検査	
	糖尿病検査	
	腫瘍マーカー	
	尿検査	
	便検査	
	胸部X線検査	
	腹部超音波検査	
	生理検査	
	眼科検査	
耳鼻咽喉科検査		
胃癌検診	胃カメラ(経鼻内視鏡、経口内視鏡の選択が可能) 胃透視	15,000円 10,000円
肺癌検診	CT	9,000円
	喀痰細胞診	3,500円
子宮癌検診	子宮頸部細胞診・内診(第1・3・5の火曜日のみ)	3,500円
乳癌検診	マンモグラフィ・触診	6,000円
前立腺癌検診	PSA測定	1,800円
骨粗鬆症検診	骨密度測定(エックス線検査による)	3,600円